

研究課題名	嵌頓子宮合併妊娠における周産期予後の検討
研究の意義・目的	嵌頓子宮合併妊娠は約 3000 例に 1 例の頻度とされとても稀ですが診断方法をはじめ管理方法が明確ではありません。そこで本研究を行うことで母児へ影響を及ぼす因子を検討するとともに妊娠中の管理指針に役立てることを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2021 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011 年 4 月～2020 年 12 月に大阪市立大学医学部附属病院の女性診療科で、嵌頓子宮合併妊娠の診断 および 治療のため分娩された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、年齢、性別、入院日、既往歴、既往妊娠歴、妊娠方法、合併症、検査データ、診断週数、診断時所見、CT 画像、MRI 画像、超音波画像、分娩週数、分娩様式、出血量、出生体重、アップガールスコア、分娩後 1 カ月までの母児の合併症】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者：橘 大介
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 (担当者氏名) 橘 大介 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：obandg@med.osaka-cu.ac.jp